【横浜 FC】2024Jリーグ新人研修　シャレン！活動レポート
橋本　丈

2024 年 5 月 15 日（水）、横浜市内で、橋本　丈　選手が、地産地消のシャレン！活動を行いました。

①　地域・社会課題：農業支援、地域活性化、SDGs

②　協働者：　横浜 FC/横浜市農政推進課/ジコンファーム/LEOC

③活動概要や内容、目的
「地産地消」をテーマに野菜の栽培・収穫を行い、収穫された野菜を横浜　FC　ホームゲームの「横浜農園」内のブースにて販売するほか、クラブ会員の皆様を対象にしたイベント時におもてなしの一品として、皆さんに提供を予定しています。

◎選手のコメント
橋本　丈　選手
新人研修の一環で畑仕事を行い、普段の生活では味わえない経験をすることができしました。気温が高く日差しも出ていて、外にいるだけで汗をかくような天候の中、腰を曲げ土を掘り、苗を植え、約 2 時間の作業でしたが、非常に疲れました。
このような大変な仕事をしている方々のおかげで、私たちが毎日食事を取れていることに改めて感謝しなければならないと感じました。

写真提供／横浜 FC

【横浜 FC】2024Jリーグ新人研修　シャレン！活動レポート
松下　衣舞希

2024 年 5 月 29 日（水）、横浜市内で、松下　衣舞希　選手が、農業体験のシャレン！活動を行いました。

①　地域・社会課題：農業支援、地域活性化、SDGs

②　協働者：　横浜 FC/（株）ミツハシ/JA 横浜

③活動概要や内容、目的
横浜の皆さんと一緒に地産地消に取り組む中で、持続可能な開発目標「SDGs：11　住み続けられるまちづくりを」を目指し、ホームタウン横浜を管轄する　JA　横浜とお米メーカーである株式会社ミツハシと共に地域農業の活性化の為、横浜市の農家協力の下、横浜　FC　の選手が携わり出来たお米を横浜 FC 応援米としてホームゲーム会場での販売、消費し、横浜農業を活性化する循環型の取り組み。実際に行った活動としては、田植えと地域で収穫した野菜の試食交流会を実施。秋には稲刈りを予定しています。

◎選手のコメント
松下　衣舞希　選手
ミツハシライスさん、JA 横浜さんのご協力の下ハマ米の田植えをさせていただきとても楽しかったです。農家の方々が作物を作ってくれることで、毎日自分達の食があると再認識することができました。今回、田植えを体験させていただき、農家の皆さまの苦労や工夫に気づく機会となり、その大変さを感じました。
日頃から横浜 FC をサポートしてくださりありがとうございます。ハマ米を食べて、試合に勝てるよう頑張ります。ありがとうございました！

写真提供／横浜 FC

【横浜 FC】2024Jリーグ新人研修　シャレン！活動レポート
橋本　丈、松下　衣舞希

2024 年 9 月 25 日（水）、横浜市内で、橋本　丈　選手、松下　衣舞希　選手が、農業体験のシャレン！活動を行いました。

①　地域・社会課題：農業支援、地域活性化、SDGs

②　協働者：　横浜 FC/（株）ミツハシ/JA 横浜

③活動概要や内容、目的
横浜の皆さんと一緒に地産地消に取り組む中で、持続可能な開発目標「SDGs：11　住み続けられるまちづくりを」を目指し、ホームタウン横浜を管轄する　JA　横浜とお米メーカーである株式会社ミツハシと共に地域農業の活性化の為、横浜市の農家協力の下、横浜 FC の選手が携わり出来たお米を横浜 FC 応援米としてホームゲーム会場での販売、消費し、横浜農業を活性化する循環型の取り組み。実際に行った活動としては、田植えと地域で収穫した野菜の試食交流会を実施。秋には稲刈りを予定しています。

◎選手のコメント
橋本　丈　選手
新人研修（シャレン活動）の一環で稲刈りを行いました。
私自身、田植えはしていませんが稲刈りだけでも非常に辛く、大変な作業でした。普段の生活では味わえない今回の稲刈りという経験は他にも様々な事を感じました。
今後の人生でも稲刈り自体はしないかもしれませんが、お米を作ってくださっている方々への感謝を忘れずに過ごしていきます。

松下　衣舞希　選手
今回は稲刈りをしてみて、日頃から自分たちが食べているお米の大切さを改めて感じました。自分が 5 月に植えた稲がお米になっていたことに嬉しさがありました。いつもサポートしてくださっている、ミツハシライスさん、JA 横浜さんに感謝したいと思います。ありがとうございます。このお米を食べて、試合に勝てるよう体作りをしていきたいと思います。
今回もありがとうございました。

写真提供／横浜 FC

【横浜 FC】2024Jリーグ新人研修　シャレン！活動レポート
小倉　陽太

2024 年 10 月 10 日（木）、横浜市内で、小倉　陽太　選手が、地産地消のシャレン！活動を行いました。

①　地域・社会課題：農業支援、地域活性化、SDGs

②　協働者：　横浜 FC/横浜市農政推進課/ジコンファーム/LEOC

③活動概要や内容、目的
「地産地消」をテーマに野菜の栽培・収穫を行い、収穫された野菜を横浜 FC ホームゲームの「横浜農園」内のブースにて販売するほか、クラブ会員の皆様を対象にしたイベント時におもてなしの一品として、皆さんに提供を予定しています。

◎選手のコメント
小倉　陽太　選手
今回サツマイモ堀を体験させていただき、改めて普段自分たちが口にしているサツマイモが、農家の方々による多大なる尽力のおかげであると再認識することができました。これからも農家の方々のように、自分たちのもとに食材を届けてくださる方たちへの感謝の気持ちを忘れずに、食材をいただきたいと思います。

写真提供／横浜 FC